

令和2年5月20日

(公財)日本少年野球連盟

企画運営部長 大富 肇

各種大会開催(練習試合)運営に関するガイドライン

(新型コロナウイルス感染拡大防止対策)

連盟主催大会、地区大会及び練習試合を行うにあたり以下の事項、対策を講じる事を運営の基本とし、連盟通達及び各地域の状況、各会場、球場の対策方針に従い行うこととする。

尚 大会運営役員、審判、参加チームスタッフ、選手、保護者の全ての者に於いて当日の検温(37.5度以下)並びに体調に異常が無いか確認をし各自出来る限り2m以上の距離を取りマスクを着用し密集しないようにする。

1. 大会開会式、閉会式を禁止とする。表彰式は最低限の人数、時間で簡素に行う。

2. (1)大会運営方法

・運営(球場)責任者、及び運営役員 3名

放送1~2名 記録1名 グランド整備等運営補助者 5名程度

室内本部は必要最低限の者とし、屋外(スタンド)とする。

・試合間隔は試合時間含め3時間を取り密にならないよう運営する。

・試合ベンチはグラウンド内にもスペースを広げ、防球ネット等で安全対策を行い密度が高くなるように設営する。

・チーム到着時、帰途時の挨拶は「無し」としメンバー表等の提出のみとする。

・試合前審査は審査証確認及び道具審査のみとし代表のみが立ち会う。

また試合前のメンバー表交換の集合は 球場責任者、審判、監督、主将で行う。

・接待は「無し」とし 飲料(個別ペットボトル)、弁当等は1ヶ所に準備し各自で行くこととする。

・本部席、ベンチ、トイレに消毒液、または手洗い用ハンドソープを設置し、試合終了後、ベンチを消毒する。

・試合会場入りは1時間前とし、試合終了後は速やかに会場より退出する。

*大会主催者は検温計、ハンドソープ、消毒液、ダスタークロス等の準備をする。

(2)試合に関して

・打席、守備につくとき以外はベンチ内に於いてはマスク着用とする。

・指示、掛け声は飛沫が飛ばないように大声を出さず行う、またメガホンは

禁止とする

- ・試合開始、終了の挨拶は声を出さず 礼のみで行う。
 - ・捕手は防具を自ら着用し 補助者を使わない。
 - ・審判はマスク着用し 判定コールは大声を出さずジェスチャーを大きく行ってジャッジングをする。
- * マスクの着用は熱中症等のリスクが高くなる為 時間を取るなど配慮が必要です。

(3)参加チームについて

- ・会場入りするチーム構成はベンチ入りの代表、監督、コーチ、マネージャー、選手 20(25)名以内及び保護者の応援はマスク着用し観客席にて2m以上の間隔を取り、声を出さず見学のみとする。
 - ・チームの飲料等は個人水筒、専用ペットボトルで行いチームのジャグ等禁止とする。またチーム役員、監督等の接待も禁止とする。
 - ・昼食を取る場合 対面にならないよう2m以上の間隔を取り会話を控え最低限の時間で済ませる。また他チームとの必要外の接触は避ける。
 - ・大会会場へは1時間前以上早く入らない。また試合終了後は速やかに帰途に着くこと。
 - ・選手移動については全ての車両に於いて こまめな換気を行い密閉、密集、密接にならないよう注意する。
 - ・宿泊に於いては一人一部屋、室内でのミーティングをしない。食事の時は対面。密集にならないよう会話は控え速やかに食事をする。
- * 大会(試合)に参加するにあたり、チームの基本的な対策及びハンドソープ、消毒液など備品は各チームで準備し、選手、スタッフ、保護者の管理はチームで責任をもって行うこととする。

以上が大会のガイドラインであります。感染のリスクがゼロではありません。

各チーム参加選手、保護者にはよく説明を行い同意、承諾の中で参加、活動をお願いいたします。またチームからの強制参加及び活動は禁止致します。

尚、大会開催中に於いても感染状況が悪化もしくは行政の指導があった場合は大会及び試合を打ち切ることがあります。

以上